

Joint Concert

～明日への祈り～

神戸大学混声合唱団アポロン

京都大学音楽研究会ハイマート合唱団

パナソニック合唱団

2012年7月1日(日)

兵庫県立芸術文化センター **KOBELCO** 大ホール

Joint Concert ～明日への祈り～

2012年7月1日(日)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

Greeting

本日はご多用の中、Joint Concert～明日への祈り～にご来場いただき誠にありがとうございます。

今回の演奏会の開催にあたり、2年前のJoint Concert～縁～で一緒にさせていただいたパナソニック合唱団さんと思いがいけず早く、再び共演する機会を迎えることができたこと、そして京都大学音楽研究会ハイマート合唱団さんと新たに深い関係を築くことができたことを心より嬉しく思っております。半年以上にも渡る両団体との交流の中で、新たな音楽の楽しみや喜びを経験させて頂きました。本日は、この音楽の楽しみや喜びを演奏会に足をお運び下さった皆様にも感じて頂けるよう、精一杯演奏させていただきます。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

神戸大学混声合唱団アポロン 部長 安福太一

本日はお忙しい中、Joint Concert～明日への祈り～に御来場いただき、誠にありがとうございます。

今回、パナソニック合唱団さん、神戸大学混声合唱団アポロンさんと共に、このような素晴らしい演奏会を開催することができ、団員一同うれしく思っております。

この演奏会の計画が始動してからはや1年半、今日の数時間のために3団が一致団結して練習に取り組んでまいりました。3団での交流の中で、単独の演奏会では得られない貴重な経験を得ることができ、我々自身の合唱活動にも磨きがかかったのではないのでしょうか。各団の個性が光る単独ステージ、そしてそれらが1つになってより輝きを増す合同ステージの各ステージの魅力を皆様にもお伝えできるように本日は精一杯演奏させていただきますので、どうぞ最後までごゆっくりとお楽しみください。

最後になりましたが、本日の演奏会の開催にあたって御指導・御協力下さいました先生方、並びに関係者の方々、そして本日御来場いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

京都大学音楽研究会ハイマート合唱団 マネージャー 井上裕登

本日はご多用の中、Joint Concert～明日への祈り～にご来場いただき、誠にありがとうございます。今年もこのようにたくさんの仲間とともにステージに立てますこと、団員一同たいへん嬉しく思っています。

本日一緒にさせていただくアポロンさん、ハイマートさんは、これまでもJointで共演させていただいているのですが、過去の出会いが新しい風を呼び、お互いの縁を深めて本日のコンサートに至りました。それぞれの団が経験のない新しい活動に取り組み、お互いに得るものがあつたからこそ実現した共演です。これからもその場に留まることなく新たな活動の場を広げていけるよう前進し続けたいと思います。

それでは皆様、アポロン・ハイマート・パナソニックが紡ぐハーモニーを、どうぞ最後までごゆっくりとお楽しみ下さい。

パナソニック合唱団 団長 渡邊純一

Program

I 神戸大学混声合唱団アポロン

R.Dubra “Missa simplex”

指揮 藤森 文之

混声合唱組曲「光る刻」より

作曲 木下 牧子 作詩 木島 始／村野 四郎

指揮 田輪 周一 ピアノ 原田 寛子

II 京都大学音楽研究会ハイマート合唱団

混声合唱曲集「光と風をつれて」

作曲 木下 牧子 作詩 工藤 直子

指揮 岡本 克文 ピアノ 上野 順子

intermission

III パナソニック合唱団

千原英喜委嘱初演

混声合唱のための 天草雅歌<第二集> ー東方への道ーより

作曲 千原 英喜 作詩 北原 白秋

指揮 本城 正博

IV 合同ステージ

Gustav Holst “Ave Maria” (女声合唱)

多田武彦「富士山」より (男声合唱)

Sven-David Sandström “Hear My Prayer, O Lord”

Sergei Rachmaninoff “Bogoróditse Dévo(Ave Maria)”

Samuel Barber “Agnus Dei”

指揮 本城 正博

京都大学音楽研究会ハイマート合唱団



京都大学音楽研究会ハイマート合唱団は、1961年に京都大学音楽研究会の合唱部門として設立されました。ハイマート(Heimat)はドイツ語で、「ふるさと」の意味です。その名の通り和気あいあいとした雰囲気の団で、現在、京都大学生(院生を含む)約100名の団員が和やかに、かつ、「本気の合唱」をモットーに真剣に日々練習に励んでいます。毎年6月、7月、12月に開催する演奏会を中心としながら団員の自由な発想によるア・カペラのステージや一般演奏会の賛助出演やミニコンサートなど、幅広く活動しています。

昨年12月の第50回記念定期演奏会では総勢約270名のOBOG合同ステージを行い、ハイマートの50年の歴史を実感できる演奏会となりました。50年間、ハイマートは団員にとっていつの時代も懐かしいふるさとのような存在であり、団員同士は学部・回生を問わず仲が良く、まるで家族のような存在でした。今年は51年目という新たな一歩を踏み出すということで、歌への熱い思い、歌う楽しみ、仲間のいる喜びを感じながら、今まで以上に精進しています。

本日はこの春入団した新入生と共に歌うはじめての演奏会です。本日ご来場いただいた皆様に日頃の練習の成果をお届けできる喜びと感謝の気持ちをかみしめつつ、団員一同心をこめて歌います。新たにスタートしたハイマートの作る音楽を最後までごゆっくりお楽しみください。



指揮者 岡本克文

ハイマートの指揮者を勤める克文くんは、他に2つの合唱団を掛け持ちする合唱好き。土日もぼったり返上し、「24時間歌えますか」を体現する。「えー？京大工学部って勉強とか大変なんじゃないですかあ？」大丈夫。彼のエネルギーには秘密があるんだ。目安は毎食米2合、牛乳は1リットル。間食に愛するオールレーズンを貪り食う。でも次の日には1食も食べない。理由はよくわからない。疲れたときにはチオ○タゴールドが相棒さ。演奏中、お手持ちの食料はカバンの中へおしまいください。彼の気が散るので。

ピアニスト 上野順子

京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専修卒業、音楽学部賞受賞。卒業演奏会・読売新人演奏会等に出演。ピアノを小林富美子・大川暢子・奥野千恵子・矢部民・福井尚子・故園田高広・横井和子・荒憲一の各氏。チェンバロを有賀のゆり氏に師事。ベルリン芸術大学にてエーリッヒ・アンドレアス氏に師事。現在はソリストとして、また室内楽や声楽家の伴奏等、各種演奏会に出演する一方、関西の主要大学合唱団の伴奏ピアニストを務める。昨年9月には、はこね学生音楽祭において最優秀賞を受賞した「My Heart」(マイハート)(京都大学音楽研究会ハイマート合唱団有志による団体)の伴奏を務めた。また、コンポーザピアニストC4-TOのオリジナルアルバム「rebirth」(2010年3月リリース)「ふたり」(同年10月リリース)では、ピアノ連弾曲「KODO(鼓動)」朝の散歩」において primoを担当。大阪文化祭賞奨励賞受賞、NHK洋楽オーディション合格。



1曲目の「いっしょに」は、唯一のアカペラ曲であり、透明感あふれる和音に満ちた繊細さが魅力です。

「秋のまんなかで」では「おい」という単語、また軽快なリズムによって音楽が作られています。

3曲目の「雨」は前曲とは打って変わってゆったりとした流れの中でハーモニーが重なって、それがゆるやかに変化して曲が進んでいき、続く「あいたくて」では数十秒にわたる全員のユニゾンから曲が始まり、タイトルにもあるあいたくての言葉が曲中でのキーワードになります。

そして終曲である「はじまり」では工藤直子によるスケールの大きな詩が、重厚かつ疾走感と躍動感のある音楽で表現されていて、そのスケールの大きさは圧巻です。

時にダイナミックに、時に緻密に、変化に富んだこの曲を是非お楽しみください。

いっしょに

ここで やすんでいきませんか
すこし おはなししませんか

きのうみた ゆめのはなしや
あしたの おてんきのこと
かぜの はしるすがたや
ひかりの こぼれぐあいについて
そして
あなたが どこからきて
どこへいくのか など…
ゆっくりゆっくり
うなづきあって
しばらくいっしょに
すごしませんか

秋のまんなかで

「おい」と呼んでみる
へんじは ない
もういちど空にむけて「おい」
——しずかだ

山が祭りのように あかるくなり
生きものは 急ぎあしになり
くさはらに 忘れもののような花が咲き

あ 風
むこうから こっちへ
こっちから あっちへ
ああ ああ ああ 行ってしまった

「おい」
もういちど呼んでみた

日が ふりそそぐばかりであった

雨

トタン屋根に雨が降り あれは秋の音
猫は浮かれてあるき 毛先に雨を捉えてくる
こおろぎは糸のように鳴き
わたしの肩は冷たい

夜があるから考えごとふえるので
わたしは陰の裏に太陽を登らせる
それでも雨は
秋のように降り夜のように降り

わたしはいっそ雨になって
屋根を叩きたいのだ

あいたくて

だれかに あいたくて
なにかに あいたくて
生まれてきた——
そんな気がするのだけれど

それが だれなのか なになのか
あえるのは いつなのか——

おつかいの とちゅうで
迷ってしまった子どもみたい
とほうに くらえている

それでも 手のなかに
みえないことづけを
にぎりしめているような気がするから
それを手わたさなくちゃ
だから

あいたくて

はじまり

畠があり川があり
また畠があり森などもあって
ついには地平線がある

背中をのばして地平を見つめ
地平の奥の雲を見つめ
雲のむこうの青さを見つめ
青さのなかの見えない星を見つめ……
おお 目が痛くなるのだが
何もないあそこから
何かが始まっているようだ

光が駆けぬけた！
風が追いぬいた！
……

空はいま
いまのいま 突きぬけた！

忘れたいことがある
忘れたくないことがある
判りたいことがある
判らないことがある……
でも しかし……
だが しかし……
そんなことどもは まるで
どうでもいいようなふうに

ごうごうと 地球はまわりつづけ…
あらゆる生き物の鼓動をのせて
ごうごうと地球はまわりつづけ…

目まいしたわたしの前に
相変らず畠があり川がある

光が また駆けぬけた！
風が また追いぬいた！
……

空はいま
いまのいま 突きぬけた！

何もない あそこから
確かに何かが始まっているようだ

パナソニック合唱団



パナソニック合唱団は1974年、パナソニックグループの社員で構成される職場合唱団として誕生し、現在は約100名の団員で活動しています。今年で37回を数えている定期演奏会では、国内外の著名な先生方への委嘱、招聘、オーケストラとの共演など意欲的な活動を展開、全日本合唱コンクール全国大会では、昨年で15年連続、通算21回の金賞を受賞しています。

活動の幅は国内に留まらず、1999年にはスペイン・トロサで開催されたトロサ国際合唱コンクールに出場し2部門で3位入賞を獲得、2005年にはニューヨークで、2008年には中国北京・大連にて演奏会を開催し好評を博しました。最近では、佐藤賢太郎氏(Ken-P)の「Cantata Amoris」、信長貴富氏の「ガルシア・ロルカ詩集」「いまぼくに」、松下耕氏の「光・三首」、パミントゥアン氏、ブスト氏、コチャール氏、新実徳英氏の作品を初演、委嘱作品を集めたCDと金賞演奏を集めたCD「祈り」のリリース、さらに若い世代とのジョイントコンサートを実現するなど、合唱音楽の楽しみを幅広く伝える活動に積極的に取り組んでいます。

日頃は、仕事に家庭にと忙しい日々を送る団員たちですが、歌い続けることのできる喜びと、それを理解し支えてくださる皆様への感謝の気持ちをもって、真摯に、そして楽しく練習に取り組んでいます。本日ご来場いただいた皆様の心に響くような、上質で大人の音楽をお届けできますよう、心をこめて歌います。



常任指揮者 本城 正博

大阪大学卒業。発声法を桜井吉明、福島慶子、小玉晃、田中由也、山下文裕、の各氏、指揮法を桜井吉明氏に師事。ブスト、パミントゥアン、サポー、コチャール、本山秀毅、信長貴富、松下耕、藤井宏樹、佐藤賢太郎の各氏より合唱指揮の指導を受けるとともに交流を深める。全日本合唱コンクール全国大会に当団を率い、昨年で21回の金賞を受賞する。最近では、中国・ニューヨーク・トロサ公演などの海外演奏、合同演奏等の客演指揮や審査員としても活躍するとともに、委嘱作品初演やCDリリース、若い世代との交流に積極的に取り組んでいる。

JCD日本合唱指揮者協会会員。21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」会員。関西学生混声合唱連盟顧問。大阪府合唱連盟理事。パナソニック株式会社勤務。

混声合唱のための 天草雅歌〈第二集〉—東方への道—より

作曲 千原 英喜
作詩 北原 白秋

「天草雅歌〈第二集〉」はパナソニック合唱団から千原英喜先生への2012年の委嘱作品です。若き北原白秋が天草での体験を情緒あふれる詩にした第一詩集「邪宗門」に収録された「天草雅歌」。千原先生は、その「天草雅歌」と、生月島に伝わる歌おらし「ぐるりよざ」の原曲と思われるグレゴリオ聖歌をテキストとして、エキゾチックで官能的で哀しく美しく希望に満ちた音楽を創って下さいました。本日は、その委嘱作品組曲より4曲を初演いたします。まだ見ぬ地を目指す期待や喜び、キリシタンの悲しみや無念、異国の情景などを表現するために、音色や楽器にもこだわりました。異国情緒あふれる世界をお楽しみ下さい。

I. 日ごとに、黄金向日葵、いっす(一出航一)

グレゴリオ聖歌を彷彿させるメロディーにのせて、南国天草の風景が歌われます。ほら、耳をすますと、風とともに異国の音楽が聞こえてきたようです。さあ、旅のはじまりです！

III. さならずば(一試練と法悦一)

異教徒に恋をした青年に棄教を勧める歌。「接吻の妙なる密に、／女子の葡萄の息に、／いで『ころべ』いざ歌へ、わかうどよ。」と官能の喜びを称えて耽美的傾向が著しい詩でもあります。ジャズ風で都会的な響きをお楽しみください。

※「ころべ」とは：転びキリシタン＝江戸時代に拷問や迫害によって棄教したキリシタンのこと。これに関連し、キリシタンが他の宗教にうつることを「ころべ」という。

IV. 嗅煙艸(一東の果ての国一)

「責めてくれるな！さな！さな！」このように叫ぶ娘は、これまでどのような人生を送ってきたのでしょうか。ただ、白秋の目の前にはうらぶれたおばあさんが一人だけです。白秋が今見ている世界と、それよりずっと以前の美しい異国情緒あふれる世界が交差します。哀しく美しい旋律は、まるで娘が昔の美しい世界を思い出しているようです。

V. 鰯を抜けよ(一旅の終わりの一)

聞こえてくる教会の鐘に、夕べの礼拝を思い船を止めて敬虔な祈りを捧げるさまをうたいあげています。みやびやかに格調高く、清らかな信仰のよろこびを奏でており、まるで信仰の勝利を人々に示しているようです。安住の地を探す旅は終わった、まさにここが旅の終着点なのです。

I. 日ごとに、黄金向日葵、いっす(一出航一)

日ごとに
日ごとにわがき愛して
日ごとに歌ふわが族よ。
日ごとに紅き実の乳房
日ごとにすてて漁りゆく。

黄金向日葵
あはれ、あはれ、黄金向日葵
汝また太陽にも倦きしか、
南国の空の真昼を
かなしげに疲れて見ゆる。

いっす
香炉まいいっすのかをり。
あはれ、火はこころのそこに。

さあれ、その
いっすのけむり、
かの空の青き霧に。

Tu regis alti ianua
et porta lucis fulgida:
vitam datam per Virginem,
gentes redemptae, plaudite.

III. さならずば(一試練と法悦一)

わが家の
わが家の可愛ゆき鰯を
その鰯を
汝せちに恋ふとしなれば、
いでや子よ、
逃れよ、早も邪宗門外道の教
かくてまた遠き祖より伝へこし秘密の聖籙
とく柱より取りいでよ。もし、さならずば
もろもろの露香のふくろ、桂枝、はた、没薬、麝香
および乳、鳥の無花果、
如何に世のほひを積むも、—
さならずば、
もしさならずば—
汝いかに陳じ泣くとも、あるは、また
護摩焚き修し、伴天連の紋よぶとも、
ああ遂に詮索なけむ。いざさらば
接吻の妙なる密に、
女子の葡萄の息に、
いで『ころべ』いざ歌へ、わかうどよ。

IV. 嗅煙艸(一東の果ての国一)

「あはれ、あはれ、深江の煙よ。
髪も頬も煙艸色なる、
棕櫚の根に踏む煙よ。
汝が持てる象牙の壺は
また薫る燭なる粉は
何ぞ。また、せちに鼻つけ
涙垂れ、あかき眼擦るは。」
このときに渡の煙
呻ぶらく。『わが葡萄牙、こを喫ぎてわがきは思ふ。』
『さらば、汝は。』『責めそ、さな、さな、
養生を骸はただ欲れ。
さればこそ、この嗅煙艸。』

(O GLORIOSA DOMINA)
O gloriosa domina
excelsa super sidera,
qui te creavit provide,
lactas sacro ubere.

Quod Eva tristis abstulit,
tu reddis almo germine;
intrent ut astra febriles,
sternis benigna semitam.

Tu regis alti ianua
et porta lucis fulgida;
vitam datam per Virginem,
gentes redemptae, plaudite.

V. 鰯を抜けよ(一旅の終わりの一)

Laudate pueri Dominum,
Laudate nomen Domini.

はやも聴け、鐘鳴りぬ、わが子らよ、
御堂にははや夕の歌きこえ、
鰯の火もともるらし、鰯を抜けよ。
もろもろの美果実龍に盛りて、
汝が鰯ら煙に下り、しらしらと
帰るらし夕づつのかけを見よ。
われらいま、空色の帆のやみに
新なる大海の香炉探り
龍に焚きぬ、ひるかへる魚を見よ。
さるほどに、跪き、ひとびとは
目見青き上人と夜に捧り、
捧げます御くるすの香にや酔ふ、
うらうらと咽ぶらし、歌をきけ。
われらまた祖先らが血によりて
洗礼がけし仮名文の御経にぞ
主よ永久に恵みあれ、われらも、と
鰯率つつ捧らまし、帆をしまれ。
はやも聴け、鐘鳴りぬ、わが子らよ、
御堂にははや夕の歌きこえ、
鰯の火もくゆるらし、鰯を抜けよ。

O gloriosa domina
excelsa super sidera,
qui te creavit provide,
lactas sacro ubere.

合同ステージ

合同ステージへの想い

本城 正博

学生さんたちとのJOINTコンサートも今年で5回目。JOINTで再びごいっしよする京大ハイマートさん、三度ごいっしよする神大アポロンさんと、パナソニック合唱団による共演です。今回も、合同練習やイベント運営を通じて、お互いが多くの気づきに出会えて楽しんでいるようです。是非、この機会にそれぞれが一味違った発見をして、今後のそれぞれの活動に活かされればいいのではと思います。学生団体にとっても社会人団体にとっても、新たな試み、新たな目標に挑戦してやろうという姿勢を持ち続けることは、とても大切なことです。今宵、それがひとつの形として、このすばらしいホールで実現できたことを、たいへん嬉しく思います。

合同曲は、この機会に、名曲中の名曲をしたい、日ごろ学生さんがとりあげにくいアカペラの深い祈りの曲をしたい、男声合唱、女声合唱もしたい、という各団や私の意向により、かなり充実した選曲となりました。女声合唱の名曲としてホルストのAve Maria、男声合唱の名曲として多田武彦の富士山より「作品第肆」と終曲「作品第貳拾壹」(宇宙線富士)、深い祈りの名曲として、パーセルとサンドストレーム作曲の詩篇102をテキストとしたHear my prayer, O Lord、ラフマニノフ作曲の徹夜禱よりBogoróditse Dévo (Ave Maria)、バーバー作曲のAgnus Dei。そして、喜びのアンコールも用意しています。

新一回生のみなさんには、かなりハードルの高い曲目が並んでいると思いますが、少しでも合唱の醍醐味を感じて頂いて、このイベントが大学での合唱生活スタートを飾る良き思い出となればいいですね。若い世代のみなさんには、これからの長い人生、学業や仕事に埋没することなく、音楽を含むいろんな意味で豊かな人間になる、この機会がそのきっかけになれば、これにまさる喜びはありません。

では、上質で感動のある音楽をいっしょに創って、私たちの「明日への祈り」の世界を大いに楽しみましょう。

■女声合唱

◇Ave Maria / 作曲:Gustav Holst (1874-1934)

Holstは、惑星で有名なイギリスを代表する作曲家。Ave Mariaは、1900年に作曲されました。女声ダブルコーラス8声で歌われます。天上からの祝福と、人々の穏やかな祈りとが入り交じり広がっていく世界を創ります。女声合唱の名曲です。

■男声合唱

◇男声合唱組曲「富士山」 / 作詩:草野 心平 作曲:多田 武彦 (1930-)

男声合唱として多田武彦の富士山(1956年作曲)から、(II)作品第肆、(V)作品第貳拾壹(宇宙線富士)をお送りします。富士山を愛する詩人草野心平が太平洋戦争の直前・直後に書いた詩です。日本の象徴、日本の原風景である富士山。男声合唱の醍醐味を味わうとともに、日本の自然がいつまでも豊かであることを祈って歌います。

■混声合唱

◇Hear My Prayer, O Lord / 作曲:Sven-David Sandström (1942-) / Henry Purcell (1659-1695)

Hear My Prayer, O Lord(主よ、私の祈りをおきください)は、1659年に生まれ36歳で天逝したバロック時代のイギリスの天才作曲家Purcellにより作曲され、その作品を、現代スウェーデン作曲家であるSandströmが1986年に編曲したものです。従って前半はPurcell、後半の不安定な嘆き以降がSandströmの手によっています。テキストは詩篇102で、冒頭「苦しむものと思いきずおれて、その嘆きを主のみ前に注ぎだすときの祈り」と記されているように、深い悲しみ、祈り、嘆き、叫び、をビブラートやrit.+cresc.で表現し、そして最後の最後にわずかな光が見える、持続力が要求されるSandströmらしい名曲です。

◇Bogoróditse Dévo (Ave Maria) / 作曲:Sergei Rachmaninoff (1873-1943)

Rachmaninoffは、ロシアのロマン派を代表する作曲家。Bogoróditse Dévo (Ave Maria)は1915年に作曲した正教会の奉神礼音楽である徹夜禱の中の6曲目で、テキストは教会スラヴ語によって行われます。ロシアのはてしない大地、美しさ、深い精神性に満ちた名曲です。

◇Agnus Dei / 作曲:Samuel Barber (1910-1981)

Samuel Barber(1910-1981)は米国の新ロマン主義の作曲家。Agnus Deiは、1936年の弦楽四重奏曲を弦楽合奏に編曲したものが原曲であり、1967年にラテン語の歌詩をつけて無伴奏合唱曲に編曲されました。70小節に満たない小曲ではありますが、注意深く計算された一時的な不協和音を連続的に使いながら、ゆっくりと古典美の絶頂へ昇りつめる構成は、集中力、持続力を必要とする難易度の高い合唱曲となっています。映画「プラトーン」のテーマ曲、ジョン・F・ケネディの葬儀等、様々な場面でこの音楽が用いられていることは有名です。

■女声合唱

◇Ave Maria

Ave Maria, gratia plena:
Dominus tecum, benedicta tu in mulieribus,
et benedictus fructus ventris tui, Jesus.
Sancta Maria, Mater Dei, ora pro nobis peccatoribus,
(nunc et in hora mortis nostrae.) Amen.

めでたしマリア、恩恵に満ちたお方。
主はあなたと共におわします。
あなたは、女の中で祝され、またご胎内の御子イエスも祝され給う。
聖なる母、神の母、罪人なるわれらのために祈り給え。
(今われらの臨終の時にも。)アーメン。

■男声合唱

◇男声合唱組曲「富士山」

(Ⅱ) 作品第肆

川面^{かわづら}に春の光はまぶしく溢れ

そよ風が吹けば光たちの鬼ごっこ

草の葉のささやき

行行子^{ゆきこ}は鳴く

行行子の舌にも春のひかり

土堤^{どてい}の下のうまごやしの原に

自分の顔は両掌のなかに

ふりそそぐ春の光に

却って物憂く眺めてみた

少女たちはうまごやしの花を摘んでは

巧みな手さばきで花環をつくる

それをなはにして縄跳びをする

花環が圓を描くとそのなかに富士がはひる

その度に富士は近づきとほくに座る

耳には行行子

頬にはひかり

(Ⅴ) 作品第貳拾壹(宇宙線富士)

平野すれすれ

雨雲^{ひょうう}屏風おもたくとざし

その絶端^{ぜつたん}に

いきなりガツと

夕映の

富士

降りそそぐそそぐ

翠藍^{すいらん}ガラスの

大驟雨^{だいしゅうう}

■混声合唱

◇Hear My Prayer, O Lord

Hear my prayer, O Lord,
and let my crying come unto thee.

主よ、私の祈りをおきき下さい
私の叫びをみ前にいたらせて下さい

◇Bogoróditse Dêvo (Ave Maria)

Богородице Дево, ралуйся,
Благодатная Марие
Господь с Тобою:
Благословенна Ты в женах,
И Благословен плод чрева Твоего,
Яко Спаса родила еси душ наших.

めでたし、聖母処女よ
恩恵にみちたマリアよ
主は、あなたと共にある
あなたは、女のなかで祝せられ
あなたの胎内に宿ったイエスも祝せられる
我らの魂を救うキリストを生んだために

◇Agnus Dei

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi: miserere nobis.

神の子羊、世の罪を除きたもう主よ、我らを憐れみたまえ。

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi: miserere nobis.

神の子羊、世の罪を除きたもう主よ、我らを憐れみたまえ。

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi: dona nobis pacem.

神の子羊、世の罪を除きたもう主よ、我らに平安を与えたまえ。

Joint Concert 2012

～明日への祈り～ への道のり



みんな真剣に
指揮に応えます



お昼休憩♪
団を越えて、
みんなでおしゃべり

2012.6.9 第2回

2012.5.19 第2回学生練習



2012.4.30 第1回学生練習



新入生初参加！
フレッシュな空気が
流れます



2012.4.1 第1回合



2011.12 実行委員 顔合わせ



2012.7.1 本番

2012.6.23 第3回合同練習

合同練習



和やかな
パート練習で、
声も心も一つに！

練習



練習後には
交流会！



神戸大学混声合唱団アポロン 第50回記念定期演奏会

2012年12月8日(土)

於：兵庫県立芸術文化センター
KOBELCO 大ホール

京都大学音楽研究会ハイマート合唱団

第51回定期演奏会

客演指揮 上西一郎

2012年12月9日(日)

14:00開場 14:45開演

於：京都府長岡京記念文化会館

パナソニック合唱団 第37回定期演奏会

指揮：本城 正博

■千原英喜 2012年委嘱作品 全曲初演

混声合唱のための天草雅歌<第二集> 一東方への道—

■現代無伴奏宗教曲 ～祈りの世界～

■東日本にエールを

「歌おうNIPPON」プロジェクト賛同ステージ

ピアノ：山口梨紗

指揮：岸本 雅弘

■わたしたちの「ソングブック」

2012年9月1日(土)

16:30開場 17:30開演

ザ・シンフォニーホール

Member

◎は指揮者、♪は技術系

■神戸大学混声合唱団アポロン

Soprano	片山 詩歩 堀 彩乃 池谷 歩実 小笠原由子	久保 萌子 三善 悠加 梅原さつき 西田 康子	坂部 美咲 岡山美有子 河崎 有咲 増本 恵莉	田口 あみ 敦賀 薫 高木 聖子 松村 紫乃	時安 美奈 中村 紘子 前上 文乃	♪永野めぐみ 福井 綾子 大川 愛佳
Alto	♪大澤 千香 森本やよい 市木 絢子 田中 佑季	♪金森 朱音 杉中 茉莉 梅澤真知子 富永 麻莉	小林 晴香 辻 佳奈 武田 紋佳 中川 小雪	竹林 瞳 宮城 里佳 亀岡 千草 森 麻衣子	谷田 奈穂 山岸 志帆 篠原 舞	谷口 香穂 青木 優佳 鈴木 瑛子
Tenor	棘 貴文 大河原 修 林 竜也 小島 圭悟	♪野村 直宏 木倉 佳祐 山崎 篤彦 鈴木 勝利	安福 太一 菅沼 智史 和田 爽良 中川 昂	赤松 溪太 ◎田輪 周一 朝倉 康平	♪伊丹 一起 上出 広和 石川 雄也	♪上田 拓史 富谷 俊樹 梅田 将斗
Bass	今脇 康介 岩崎 拓実 米奥 将人 湯本 赦頼	♪片岡悠一郎 沖野 拓也 上田 亮祐 吉本宗一郎	川西 克典 栗林 晃大 中田 智大 足立 晋也	◎藤森 文之 西村 遼太郎 西尾 隆文 中村 俊幸	本多 史明 藤下 峻 西川 弘樹 林 宏行	正岡 伸之 宮平 拓朗 三原 秀司 利一 裕大

■京都大学音楽研究会ハイマート合唱団

Soprano	栗岡 紀佳 下保 舞 義則 裕子 前橋 優子	芦原悠紀子 嶋 ゆりか ♪戸田 叶子 柳原 早希	寺園 杏子 園部 香里 藤澤 智子	前田 史世 藤元 美江 稲村 沙織	大津谷 馨 松下奈生子 上田 侑奈	尾笹 由佳 矢野 礼菜 尾野 有菜
Alto	島並 祐子 豊島 絹世	井川未奈子 野寄 安希	小林 桜子 野村 佳世	永本 翠 ♪藤本菜菜子	三谷 悠 黒岩沙也華	石山 悠和
Tenor	上村 昂史 新 拓人 ◎中根洋太朗 小野 健介	田中 悠貴 竹重 聡史 藤井 元 羽原 拓哉	岩村宗千代 武重 政宏 ♪大懸 剛貴 益田 天朗	小鈴 健夫 堀内 俊希 北村 康平 柳井康太郎	前田 裕貴 栗林 高樹 ♪佐藤 開	吉松 寛 藤井 大輔 堀内 俊
Bass	加藤 大貴 ◎岡本 克文 須崎 翔太 高田 優樹	増井 秀樹 砂山祐一郎 野田 洋平	中塚 滋 ♪今泉 唱 花尾 崇	大前 泰樹 栢官 朋哉 ♪吉井 翔一	岸本 裕大 倉 真之介 大澤 陽平	井上 裕登 佐藤由比呂 園田 隼人

■パナソニック合唱団

Soprano	東 由起子 奥田 美香 笹原 涼子 千秋 久子 永野めぐみ 別府 美歩 安田 裕美	安孫子和代 越智 景子 志氣加奈子 辻川美沙貴 中南 絵美 松岡 祐子 ♪渡邊あずさ	安倍 智恵 海蔵寺敦子 杉村 節子 津田 メイ 中本利恵子 松崎 聖子	♪井上 真弓 菊地 灯 高木 聖子 寺阪 知子 中森 睦美 ♪松下 祐実	伊本 裕子 古賀 順子 田中 薫 床井 奈那 長谷川奈津子 森 京子	大西みどり 小山 恵 田中 弥生 中島 祥代 平松 春生 森下 佳子
Alto	浅野 典子 大野 佐和 河原林 優香 末武 智子 ♪野口 智美 宮村 実歌	蘆原由美子 尾村 碧 神阪 美沙 高橋由美子 濱田寿美子 渡辺 節子	荒木 文江 栢木 奈緒 小暮由美子 武田 紋佳 松本有希子	伊藤 玲奈 川田 絹子 境 満里奈 千葉 鮎美 ♪馬渡友樹子	上谷由里子 河野 友美 佐藤 綾 辻 佳奈 美間 智子	植村 有里 川村 章江 ♪嶋村 恵 西川 史織 宮澤 芳里
Tenor	安倍 清史 杉山 茂行 中前 伸崇 和田 爽良	一宮 敬弘 鷺見 晋吾 正木 茂生 渡邊 純一	片岡 長久 陶山 悟嗣 松野 広哉	♪清澤 佑太 竹村 邦和 ♪馬渡 隆行	近藤 達夫 千葉 啓一 山崎 篤彦	菅沼 智史 中井 出 ♪米澤 康浩
Bass	縣 和憲 北尾 郁夫 高浦 敬祐 中屋 佑紀 ◎本城 正博 三井 公義	伊東 英知 岐津 三泰 ♪高木 俊一 中山 貴尋 正岡 伸之 宮本 武呂	加藤三三男 久米健次郎 谷口 宏嗣 ♪野嶋 晴之 増井 秀樹 村田 和行	金秋 哲彦 塩谷 雅美 田村 一生 長谷川隆朗 松本 淳 谷高 竜馬	神谷 裕一 嶋田 幹大 富吉 武司 林 誠浩 美井 明 山本 晋也	◎岸本 雅弘 世良 朋孝 中原 佳祐 藤下 峻 水川 信之

Project Member



神戸大学混声合唱団アポロン

総括	安福 太一
	小林 晴香
技術	藤森 文之
会計	川西 克典
編集	前上 文乃
	山崎 篤彦
	武田 紋佳
	岡山 芙有子
録音	三原 秀司
ステマ	青木 優佳
ネ	伊丹 一起
情宣	吉本 宗一郎
	本多 史明
ロビ	赤松 湊太
ー	金森 朱音
レセ	和田 爽良

京都大学音楽研究会ハイマート合唱団

総括	義則 裕子
	井上 裕登
技術	岡本 克文
	中根 洋太郎
会計	花尾 崇
編集	佐藤 由比呂
	倉 真之介
録音	北村 康平
ステマ	北村 康平
ネ	野田 洋平
情宣	栢 菅 朋哉
	大野 真人
ロビ	大野 真人
ー	栢 菅 朋哉
	野田 洋平
レセ	藤井 元

パナソニック合唱団

総括	馬渡 隆行
	本城 正博
技術	河原 林優香
会計	野口 智美
編集	小山 恵
録音	高木 俊一
ステマ	西川 史織
ネ	小山 恵明
情宣	
ロビ	
ー	
レセ	

編集後記

本日はお忙しい中、ご来場いただき誠にありがとうございます。

Joint Concertを開催するにあたって、団員たちは半年間、様々な経験をしました。出会い、発見、感動、期待、不安、努力、喜び。パンフレットは、それを形として表すことができるものだと思います。

ご来場いただいた皆様にとっても、団員にとっても、このパンフレットが思い出の1ページとなれば幸いです。

最後になりましたが、原稿を寄せてくださいました方々、六甲出版販売の皆様、編集作業に協力してくださいました皆様、そして、このパンフレットを手にとっていただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

神戸大学混声合唱団アポロン 前上 文乃

Joint Concert～明日への祈り～の御開催おめでとうございます。
この度も馬渡さんに総括いただき、野口さん、佐藤さん、山崎さん、編集の皆さんにお世話になりました。そして窓口となってご対応いただいた前上さん、本当にありがとうございました。これからも皆さんの交流が続いていき、またいつかお会いできることを願っております。3団の皆さん、本当にありがとうございました。

株式会社 六甲出版販売

本社 〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町3-3-18 六甲ビル3F
TEL 078-871-1234 FAX 078-801-0006
E-mail:kobe@rokkou.co.jp

アートヴィレッジ

(東京) 〒104-0031 東京都中央区京橋1-6-7 京橋高野ビル2F
(神戸) 〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町3-3-18 六甲ビル4F

名将西野朗氏の初単行本『攻め切る～指揮官 西野朗の覚悟』が
6月18日、日本有数の出版社アートヴィレッジより発刊。



Joint Concert
 ~明日への祈り~

神戸大学混声合唱団アボロン
 京都大学音楽研究会ハイマート合唱団
 パンニック合唱団

恐れ入りますが、未読学院の人数はご遠慮ください

2012年7月1日(日)
 開場 15:45 開演 16:30
 会場 大ホール
 記念館芸術文化センター KOBLO
 阪神西宮北口駅より西へ徒歩2分
 JR西宮駅より北東へ徒歩15分

